

トラック運送事業者の運転者採用状況に関する 調査結果について

国土交通省 東北運輸局
自動車交通部 貨物課
平成29年4月

【調査目的】

東北運輸局においては、近年の運転者不足に対する方策として、平成27年度より運輸支局長による高校訪問活動を実施しているところ。今後もこの取組みを継続するにあたり、高校新卒者を採用している運送事業者に採用の現状等に関する調査を行い、トラック運送事業者における運転者不足の実態と高校新卒者及び女性運転者の採用への取組状況を把握、分析することで、より効果的な運転者不足対策の手法を検討する。

1. 調査の概要

- 調査実施時期:平成28年12月
- 調査委対象:東北地方に営業所のあるトラック運送事業者 185者(※)
※同一法人の複数営業所が対象となっている場合は各営業所を1者と計上
- 調査方法:東北運輸局より調査票を郵送、回収後集計
- 回答状況:回答者数 135者(回収率72.9%)



2. 調査結果

- 運転者の現状(年齢構成、女性割合)
 - ・年齢構成:運転者の年齢層で高い割合を占めているのは40～50代で61.4%
 - ・女性運転者の割合は2.8%
 - ・88%の事業者は運転者が不足と回答



3. 高校新卒者の採用状況

- ・26年度～28年度に高校新卒採用を行った事業者は25%
- ・採用活動は主に高校への直接訪問
- ・採用時は「荷役作業」や「乗務補助」に従事
- ・半数の事業者が中型・大型免許取得に費用を支援

4. 女性運転者の採用状況

- ・直近1年の女性運転者の採用を行った事業者は28%
- ・採用にあたり事業者は勤務時間等に配慮している
- ・採用については、好影響を挙げる意見と、採用には慎重な意見もあり

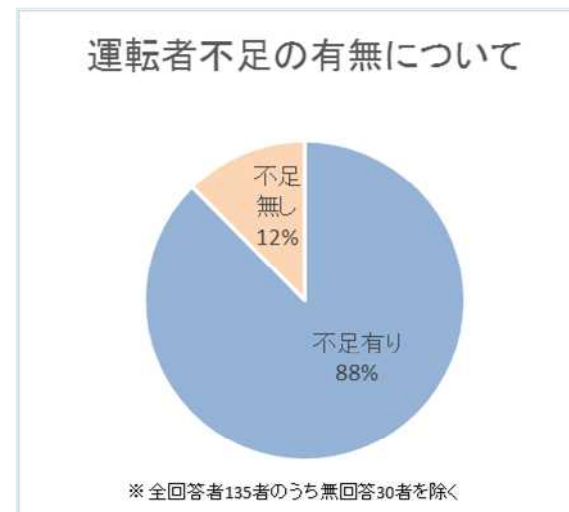
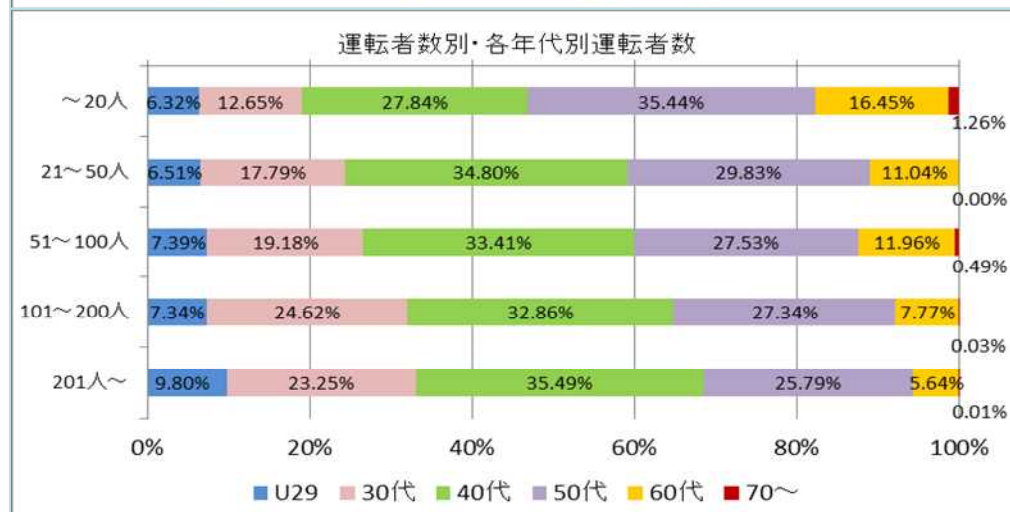
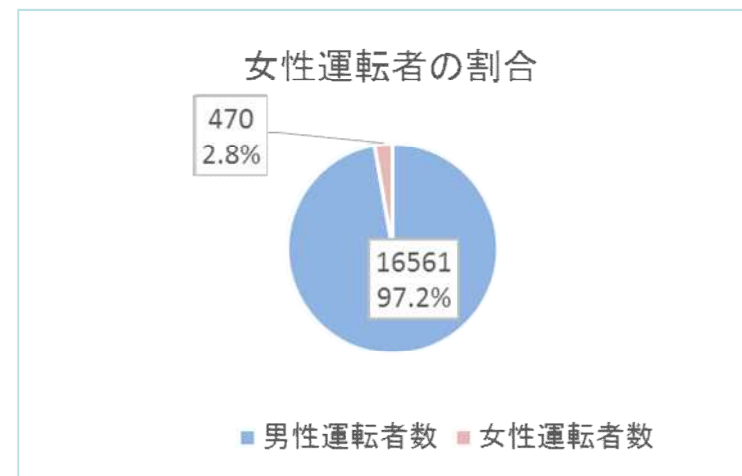
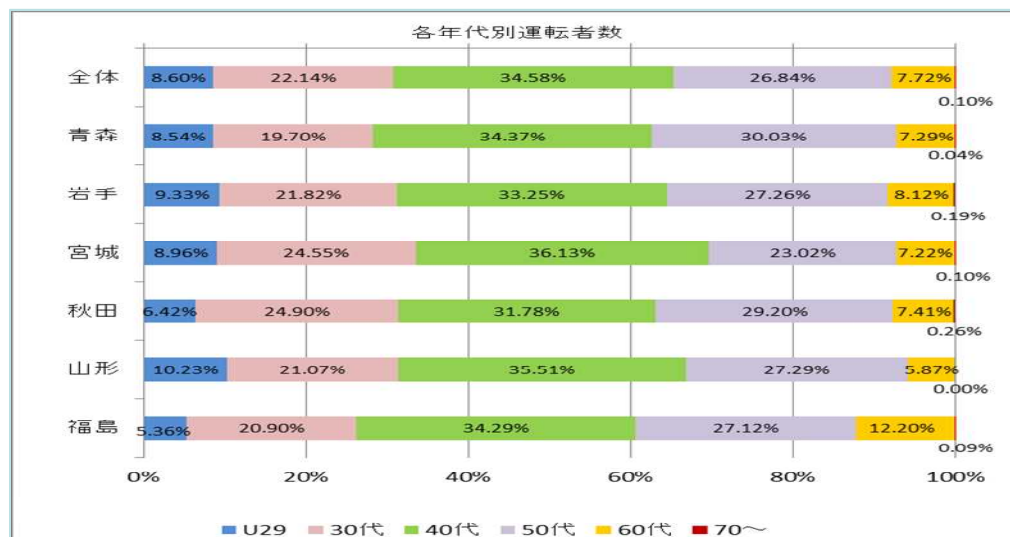
5. 今後の運転者採用について

- ・若年層、女性を積極的に採用したいという意見がある一方、採用に対し困難を感じるという意見も多数あり
- ・新免許(準中型)制度の運転者採用に与える影響については、期待する意見が4割、効果がないとする意見が2割となっている

トラック運送事業者の運転者採用状況に関する調査結果について

【報告1】運転者の現状(年齢構成、女性の割合)

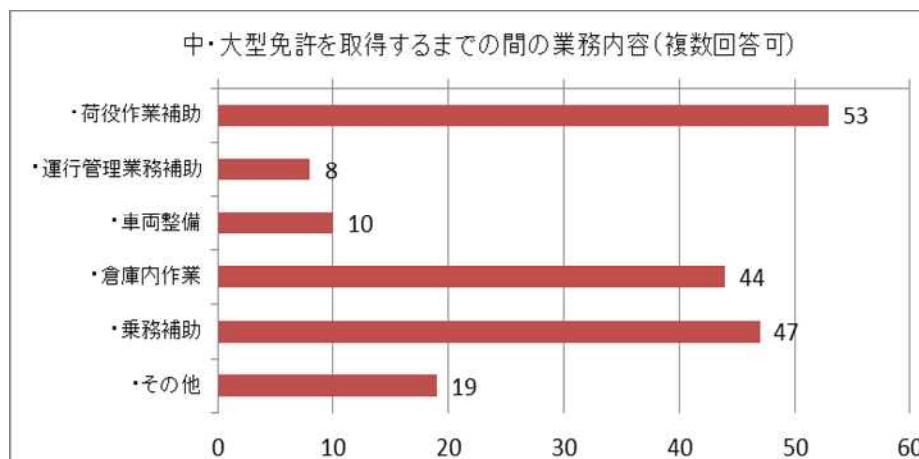
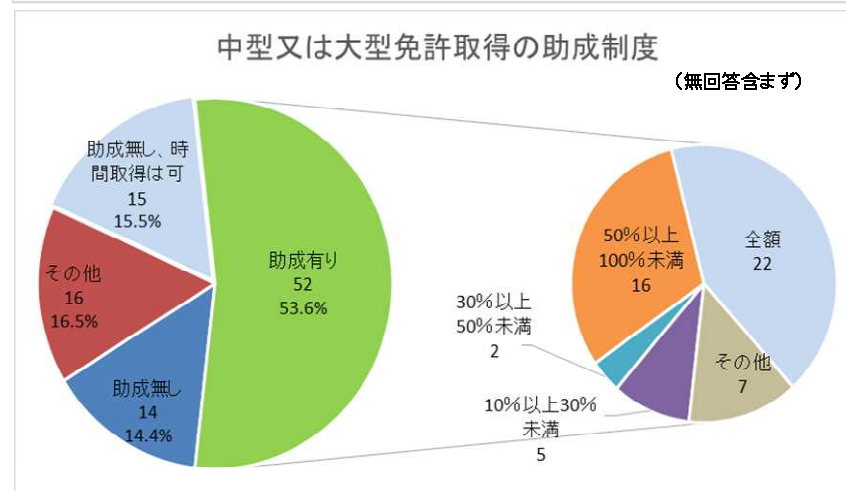
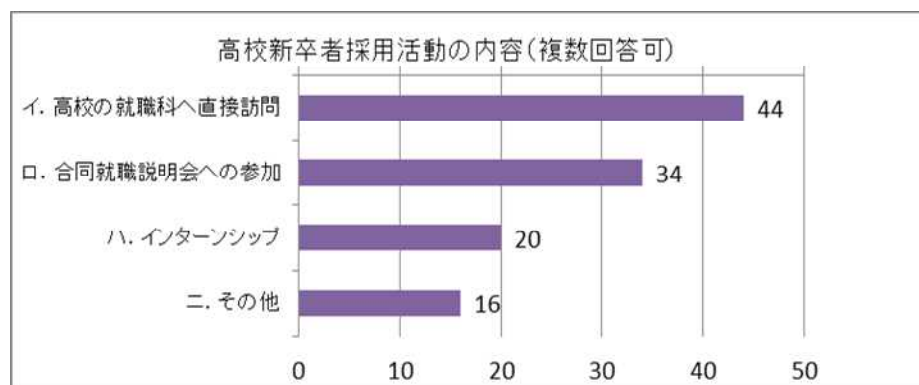
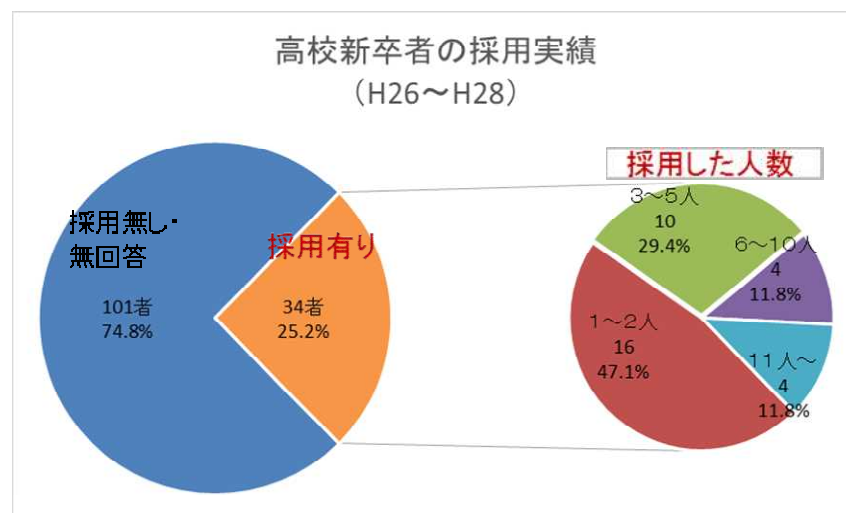
- 運転者の年齢層で高い割合を占めているのは40～50代で61.4%。
- 規模別で運転者数が少ない事業者において高齢の年齢層の割合が高くなる傾向が見られる。
- 女性運転者の割合は2.8%
- 約7割の事業者が運転者が不足していると回答。



トラック運送事業者の運転者採用状況に関する調査結果について

【報告2】運転者採用はどのような状況かー(1)高校新卒者

- H26～28年度の高校新卒者の採用実績;採用を行った事業者は回答全体の25%。
- 高校新卒者の採用活動方法として「高校への直接訪問」を挙げる事業者が多い。
- 半数の事業者で採用後、中型・大型免許取得のための助成制度を設けて支援している。
- 中型・大型免許取得までは多くの事業者が、「荷役作業補助」や「乗務補助」を担当させている。



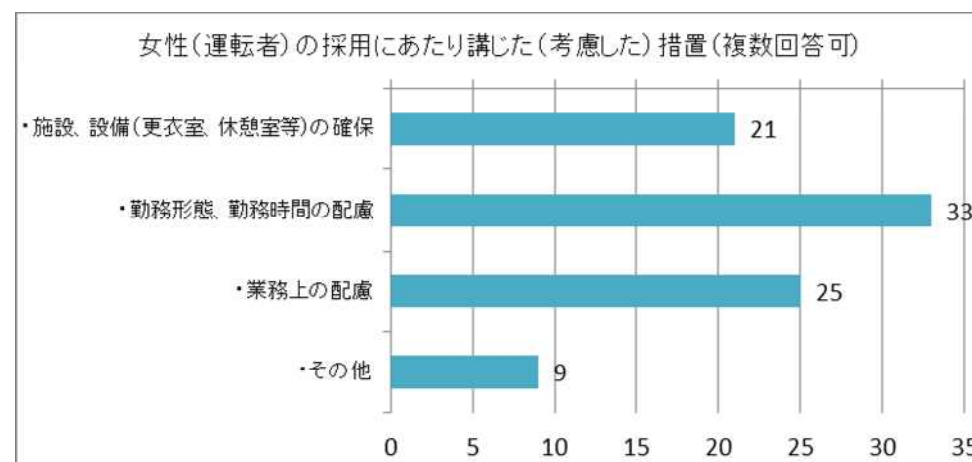
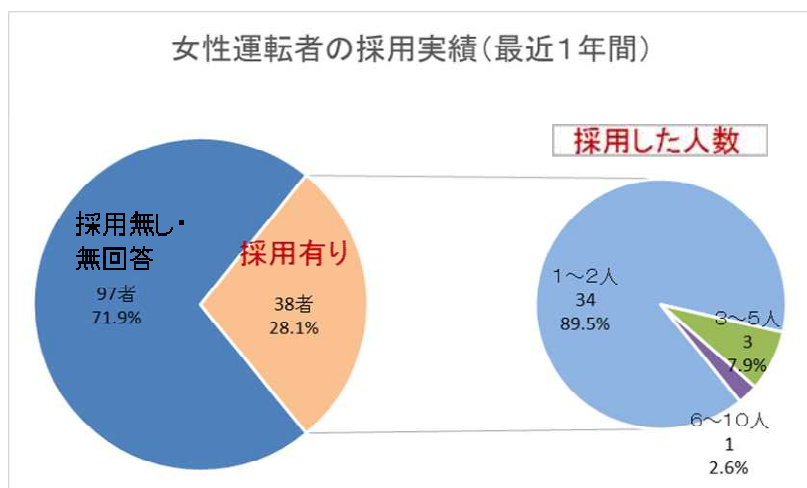
トラック運送事業者の運転者採用状況に関する調査結果について

【報告2】運転者採用はどのような状況かー(2)女性

○最近1年間の女性運転者の採用実績;採用を行っている事業者は回答全体の28%。

○女性運転者の採用にあたり、事業者は勤務時間や業務上の配慮を講じている。

○女性運転者の採用による影響等に関しては、好影響を挙げる意見と、採用に慎重な意見が挙げられた。



女性運転者の採用にあたり講じた業務上の配慮(具体的内容)

- 小型車に乗務させる
- 近距離の配送業務を担当させる
- 重量物の多いルート、手摘み手卸作業の無い仕事に充てる

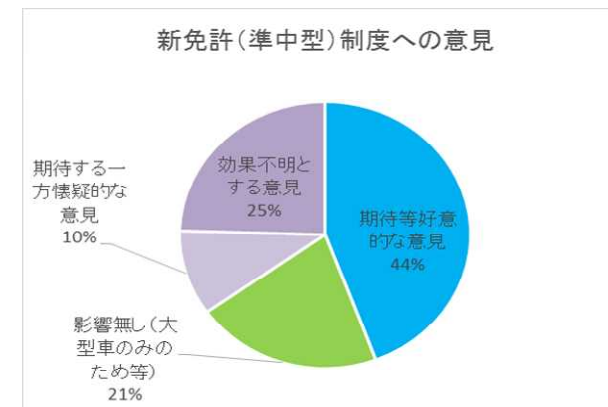
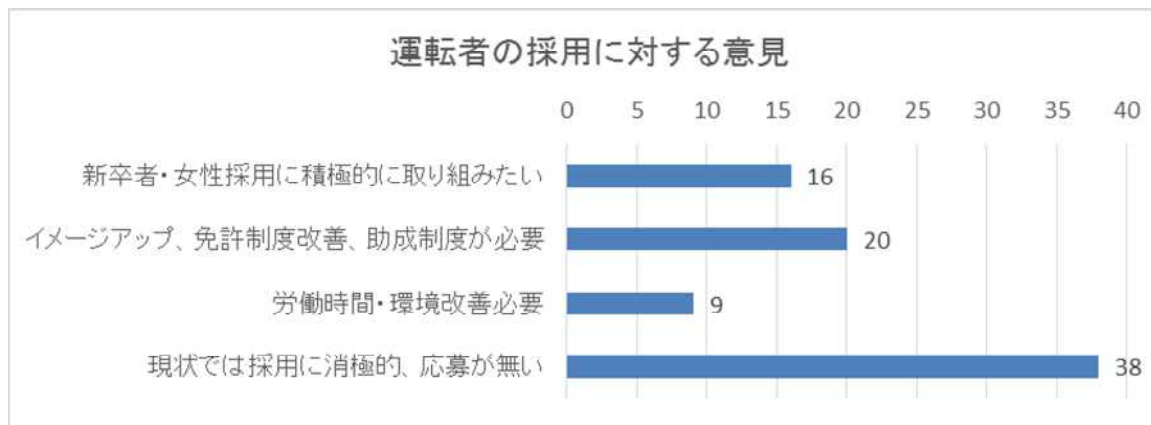
女性運転者の採用による影響等に関する意見

- 女性ドライバーの存在で職場内が明るくなっている。
- 女性ドライバーが多い環境になれば、労働条件の法令遵守も可能になる。
- 女性ドライバーは活用すべきだが体力的な問題から担当できる業務が制約される。
- 家庭の事情での退職が多く長く続かない。
- 荷主から女性ドライバーを断られることがある。

トラック運送事業者の運転者採用状況に関する調査結果について

【報告3】今後の運転者採用について

○若年層、女性を積極的に採用したいという意見がある一方、採用に対し困難を感じるという意見も多数ある。
 ○新免許(準中型)制度が運転者採用に与える影響については、期待する意見が4割、効果が無いとする意見が2割あった。



【運転者採用に対する意見】

- インターンシップの実施や女性ができるような仕事内容への見直しの実施を進めたい。
- 今後即戦力の採用は一層厳しくなる。教育訓練を充実させ育てていかなければならない。
- 運送業界全体のイメージアップと免許制度の改善が必要。
- 大型、中型免許取得のための助成制度を要望する。
- 希望者が集まらない理由には賃金の低さがある。労働時間、賃金の改善のために荷主企業に物流企業の危機状況を認識してもらう必要がある。
- 採用したいが育成時間がかかる点や、経済的な点で困難を感じる。
- 高校生の採用に際しては親・教師の理解が無ければ困難。

【新免許(準中型)制度への意見】

- 運転車両の幅が広がり、採用職種が拡大する。
- 免許が取りやすくなり若年層の関心増加、就職先拡大に期待。
- 大型免許が必要な車種がほとんど、準中型では意味が無い。
- 大型免許取得までに時間、費用が増える。新免許取得者がどれだけ増えるのか未知数。

トラック運送事業者の運転者採用状況に関する調査結果について

【報告4】業界のイメージアップについて

○運転者の採用拡大に向けて、運送業界・運転者の職業に対するイメージアップが不可欠という観点から、事業者は様々な方法でイメージアップに取り組んでいる。



イメージアップのための取り組み等についての意見

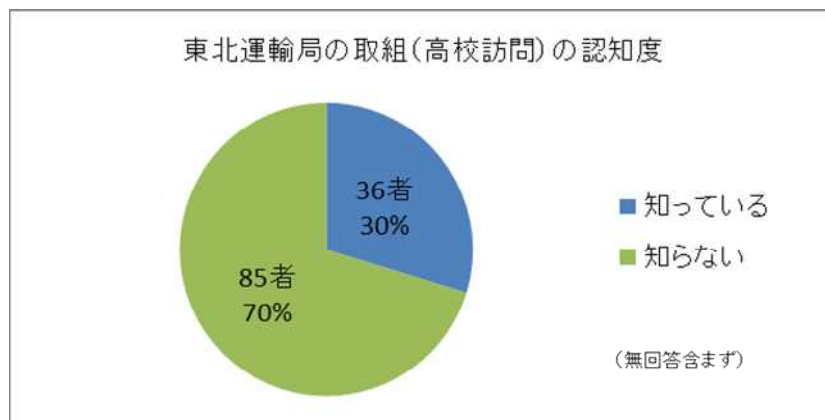
- 未経験でも資格取得支援等フォロー体制が充実していることをPR。
- 早出、残業を減らし長時間勤務を減らす努力をしている。
- 定期健康診断の100%実施で健康管理を徹底している。
- 給与水準と労働時間を他の業種並にするには自社努力だけでは不可能。
- 採用向けホームページで具体的な業務内容を紹介。
- 全車両AT車、よりよいキャビンで運転を楽にさせている。
- 地域清掃活動への参加。
- 女性ドライバーを「トラガール」としてイベントに参加させ活躍をPRさせている。
- 運送事業の重要性、公共性、社会貢献度の高い事業であることをPRしていかなければならない。

トラック運送事業者の運転者採用状況に関する調査結果について

【報告5】運輸局の取り組み(運輸支局長による高等学校訪問)活動について

○活動について「知っている」事業者の割合は3割。

○高等学校訪問でPRしてほしい内容は、「運送事業の社会貢献・やりがい」、「スキルアップ」、「安全・労務管理」、「イメージ向上」が挙げられ、訪問活動による運送事業のPR効果への期待が寄せられた。



【参考】運輸支局長による高等学校訪問活動の実績

年度	H27	H28
青森県	6校	13校
岩手県	7校	10校
宮城県	2校	10校
秋田県	8校	10校
山形県	10校	4校
福島県	5校	9校
計	38校	56校

訪問でPRしてほしい内容

社会貢献・やりがい

- 生産・流通・消費の過程で必要不可欠な事業である。
- 地域経済・ライフライン・復興のために重要な役割を担っている。

スキルアップ

- 新入社員指導、教育が充実していること。
- 一生できる仕事。管理者としての登用の道が開けている。

安全・労務管理

- 労働者の待遇改善、負担軽減に取り組んでいる。
- 育児・介護制度の整備をすすめている。
- 車輛の性能向上がすすんでいる。

イメージ向上

- 具体的な仕事の内容を伝え、運送事業に対するイメージ(危険、汚い、きつい)の払拭。